

あり組がスタートして1か月、新しい環境にも少しずつ慣れてきました。担任の顔も分かってきて、側に居る事で周りの玩具に興味を示して遊ぶ姿が増えてきました。お腹がすいた時や眠たい時、甘えたい時は大きな声で泣いて知らせている子どもたちにたくましさを感じます。あり組の子どもたちのお気に入りの時間はバギーに乗って散歩へ行く時です。園庭から大学構内に出ると気持ちの良い空気と静かな雰囲気心地よさを感じてバギーですやすやす眠ったり、葉っぱや花、空などきれいな景色を見ながら散歩を楽しんだり、穏やかな春のひと時を過ごしています。

5月も一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、子どもたちと一緒に散歩を楽しんだり、ゆったりと室内やテラスで1対1の関わりを大切に遊んだりしながら安心して過ごせるようにしていきたいと思います。



Aちゃんはプレイジムを楽しむ時、手足をととも元気に動かします。そのうち、背中クッションから体がすれ、泣いて助けを求める姿がよく見られていました。ある日、クッションからすれたかと思うと、くると自分で寝返りをして腹這いになったAちゃん。そのまま後ろに進んで部屋の探索を楽しんでいました。日々の成長に驚いたひとコマでした。

ひよこ組になって、1か月が経ちました。新しい環境に緊張や不安を感じて泣いていた子どもたちも、お気に入りの絵本を“もう1回！”と何度もリクエストする姿や、テラスや園庭ではボールを転がしてニコッと笑う姿が少しずつ見られるようになり、それぞれ好きな遊びを見つけて楽しんでいます。

4月はこいのぼり制作でシール貼りをしました。画用紙に貼ろうとしたシールが手にくっつき、少し戸惑いながら保育者に見せたり、台紙から自分でシールをはがして同じ場所に重ねて貼ってみたりと、一人ひとり楽しんでいました。

今月は画用紙の傘に手形や指スタンプで雨を表現し、制作を楽しみます。また、晴れた日は心地よい風を感じながら歩いたり、バギーに乗ったりして大学構内や聖和の森に散歩に出かける予定です。様々な経験の中で、子どもたち一人ひとりの驚きや発見を大切に、安心して過ごせるようにしていきたいと思います。



『ぼんちんぱん』というリズムカルな言葉遊びの絵本が大好きな子どもたち。絵本の中に【ちぎちぎぱっぱで ぼんちんぱん】というフレーズがあります。保育士が『ちぎちぎぱっぱで、ぼんちん・・・』まで読むと、子どもたちが声を揃えて『ぱんっ！』と元気に返してくれる姿がとてもかわいいです。一年間、様々な絵本を通して、子どもたちとの楽しいやりとりを大切にしていきたいと思います。

ひよこ組からりす組への嬉しい進級から1か月が経ちました。毎朝、登園後に「なにしようかな？」と好きな遊びを探したり、保育者に「りすぐみさーん！！」と呼ばれると「はーい！」と元気な声で返事をしたり、進級した喜びを全身で表現している子どもたちです。オレンジ色の帽子もよく似合い、乳児園庭ではお友だちと追いかっこをしたり、アリやダンゴムシなど虫探しをしたりして、元気いっぱい遊んでいます。

5月は少しずつ暑くなりますが、心地よい自然を感じる新緑の季節です。園庭だけではなく、大学構内や聖和の森で心と体をたくさん動かして遊びを楽しみたいと思います。また、のりを使った制作も楽しめます。友だちや保育者と一緒に制作を通して表現する楽しさを感じていきたいと思います。5月は2名の新しい友だちが加わります。



園庭で遊んでいる時、地面に大きなアリを見つけた子どもたち。「うごいてる！」「だんごむし？」と興味津々に心を動かす様子が伝わってきました。触ってみようとおそろおそろ手を伸ばし、ちょこちょこ動くアリを何とか指先で拾い上げると、バケツの中に入れ、みんなで頭を寄せ合い「アリ観察会」が開かれていました。